



VOICE

千代田区議会 自由民主党議員団活動レポート

発行：千代田区議会 自由民主党議員団 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1(千代田区役所7F)

あなたの声をお聞かせください!

▶ウェブサイト <http://jimin-chiyoda.tokyo>

▶お電話 03-5211-4320 ▶ファクス 03-5275-6882



日枝神社本殿にて

決意新たに豊かな地域社会実現へ!

新年あけましておめでと〜うございませう。

輝かしい平成30年の新春を迎え、千代田区自由民主党議員団の幹事長としまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、2月の第1回定例会におきまして、平成29年度の予算審議の中、「豊かな地域社会」実現に向けた積極的な予算である一方で、十分に関係者等に説明をしていない部分を減額修正しました。また、四番町複合施設整備事業につきましては、地域と議会に十分な確認をしながら進めるよう附帯決議を付し可決いたしました。

5月の臨時会では、正副議長をはじめ3常任委員会等の新たな議会構成を決め、特別委員会において、四番町複合施設整備等区政の課題を引き続き議論していくこととしました。狭く老朽化が進んでいる当該複合施設は、現在工事等が進捗しています。九段小学校とともに、地域の皆さまにとって大切な複合施設であり、一刻も早い着手が必要なことから、9月の第3回定例会では、新たな四番町公共施設については、多様な観点から検討するように指摘し関連補正予算を、11月の第4回定例会では、現在お住いの方々の不安を丁寧に対応することを求め、関連の仮設住宅建築関連契約議案を可決したところです。議会としましては、引き続き議論してまいります。

結びに、昨年は、台風21号による被害をはじめ全国各地で集中豪雨などによる災害が多数発生しました。自由民主党議員団といたしましては、本区におきましても、想定外の災害等をはじめとする危機管理や各区政課題解決に向け、取り組んでまいり所存です。本年も相変わらぬご指導をよろしくお願ひ申し上げます。



自由民主党議員団 幹事長 嶋崎秀彦

予算要望書を提出!



自由民主党議員団では、「平成30年度予算編成にあたっての要望書」を、石川区長へ提出いたしました。

日頃より区民の皆さまからいただいているご要望や、各種団体とのヒアリングをもとに、政務調査会にて取りまとめを行いました。区民生活の安全と安心を支え、豊かな地域社会の実現に向けた、9分野・54項目にわたる政策提言を行い、特に次の6項目について強く要望いたしました。予算化の実現に向けて、自由民主党議員団一丸となって推し進めてまいります。

重点要望

- ・保育園、学童クラブの待機児童ゼロの実現
- ・高齢者施設整備の推進
- ・北の丸、九段坂公園周辺整備の推進
- ・受動喫煙対策の推進と喫煙所の確保
- ・商店街の電気供給などインフラ整備の推進
- ・外濠公園グランドの人工芝化、多目的化への整備

政務調査会長 戸張孝次郎

千代田2020への取り組み

区の施設の建物内をすべて禁煙に!

区の施設では、これまで受動喫煙対策に取り組んできましたが、今回、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を控え、改めて基本方針を定めて取り組むこととしました。

この基本方針により、これまで分煙対応してきた本庁舎その他3施設において、喫煙室を廃止します。これにより区の施設の建物内は、すべて禁煙となります。一方で、喫煙所の設置などの整備対策も必要ではないかと問い続けていきます。

皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

基本方針

子どもや妊婦の利用が多い区立施設は、敷地内の建物内外を禁煙とする。

その他の区立施設は、建物内禁煙とする(区営住宅等の居室、宿泊施設の客室は除く)。



代表質問



戸張孝次郎

冒頭で11月23日に急逝された木村前区長への哀悼の意を示し、北朝鮮による弾道ミサイルへの抗議、さらに税財政改革の一環である地方消費税の配分の再考を国に求めてから代表質問に入りました。

地域コミュニティの活性化について

問: この10年で区の人口は1.3倍になりマンション居住者が9割となるなどの変化に伴い、地域コミュニティの活性化は区政の重要課題と考えるが、町会との関係も踏まえ今後コミュニティ醸成支援にどのように取り組んでいくのか。

区の答弁

区の施策展開を広く情報共有し、各連合町会やマンション等に拡充する。また、神田公園連合町会をモデル地区とし町会案内作成等に取り組む。

受動喫煙対策を踏まえた喫煙対策

問: 千代田区は平成14年全国に先駆けて生活安全条例を制定して一定の成果を上げてきた。その一方で、民間の建物や敷地から喫煙所が減少してきており、喫煙場所を求めて、公園等に喫煙者が集中する状況が顕著である。区長は前定例会で喫煙所の整備に関しては積極的に推進し

ていくと明言したが、どのような具体性をもって進めていくのか。

区の答弁

助成制度の活用促進と喫煙トレーラー設置等を検討していく。

公園の禁煙化について

問: 区内の16か所の公園が禁煙化されるが、その進捗状況と他の公園の禁煙化の方向性はどのようになっているのか。

区の答弁

地域への説明と広く意見を聴取するため意見公募を予定、他の公園も16公園に準じた禁煙化を進める。



神田地域のまちづくりについて

問: 千代田区が誕生して70年が経過し、区内のさまざまな建築物が機能更新の時期を迎えている。現在の神田地域、特に神田駅の東側から内神田周辺の街区では狭隘な道路が多く、神田らしさも残した上での機能更新は大変難しいが、どのような手法を活用して進めていくのか。

区の答弁

土地の高度利用と、地域の絆と賑わいの両立を目指して取り組む。

電柱等の未整備について

問: 中央区との区境は3メートルほどしかなく千代田区に入ったとたんに、電柱等の未整備が目につくが、今後、道路修景をどのように進めていくのか。

区の答弁

路線の連続性を考慮し、快適性や美観上等の観点から計画的、精力的に整備を推進する。

上記以外に、国際競争、国際協力が進む中での『グローバル化社会における国際理解教育のあり方』および、3年に一度改定される『第7期介護保険事業計画』について質問しました。

一般質問

池田ともり



永田壮一



食を通じた千代田のコミュニティ

問: ①一人暮らしの方や諸事情のため子どもが一人で食事をするいわゆる孤食の解消に向けて、安全安心な食材を使用した食事を提供するような多世代交流の場が必要ではないか。

②2020東京大会に向け、大使館との交流の契機として、各国の食文化を学ぶことが国際理解教育の推進にもつながるのではないか。

区の答弁

①これまでの事業を踏まえさらに充実を図っていく。今後は保健福祉部と子ども部とが連携した事業をすすめていきたい。

②各学校5か国を選択して食文化などを学び、また給食の中で食を紹介して理解を深めているところ。さらなる国際化の推進として今後は大使館との連携を図り連絡会を開催していく。

公教育の質の向上について

問: 各学校独自の教育活動を支援するために柔軟な予算措置が必要ではないか。教育の質の向上だけでなく教員の負担軽減にもなる外部人材活用を進めるべき。量より質が重視される中で多すぎる宿題の弊害についてどう考えるか。

区の答弁

予算に過不足が生じて再調整可能。部活では専門の知識を持った外部指導員を積極的に配置する。一律、多量の宿題ではなく個々の特性に応じて対応していきたい。

消費生活支援事業について

問: 消費税10%になる前にスタンプカードに変わる新たな支援事業が必要ではないか。マイナンバーカードを使った公共施設利用、イベント参加でポイントが付与される自治体ポイント制度を導入できないか。

区の答弁

東京五輪の機運醸成、消費税増税対策として新たな支援事業を検討していく。マイナンバーの利活用、ポイント制度は他自治体の実証実験を検証し導入を検討する。

小林たかや議員が入団!

今定例会中の12月11日付けで小林たかや氏が千代田区自由民主党議員団に加わり会派異動届を提出しました。今後ともよろしくお願いたします。



戸張孝次郎

全力投球で区政に取り組んでまいります!



桜井ただし

初心を忘れずいつも一生懸命!



小林やすお

今年も区監査として行政チェック!



松本佳子

区民の皆さまと共に歩みます!



嶋崎秀彦

区民の皆さまの目線で区政運営に努めます!

自民党議員団
2018年の抱負!



内田直之

スポーツ環境の整備に取り組んでまいります!



永田壮一

国益と区民の利益を守り公に尽す!



山田丈夫

地域や区民のために全力を尽くします!



池田ともり

食育の充実にも努めます!



大坂隆洋

地域経済の活性化を!



小林たかや

住み続けられる住み良い町づくり!

財政援助団体等の監査報告



昨年12月21日に区長・議長に財政援助団体等の監査報告をいたしました。

補助金交付団体と指定管理者および所管課に対する監査ですが、概ね適正に執行されていました。ただし、補助金交付団体では補助金の交付要綱に沿った事務手続きに不適切な事例が見られたり、指定管理者においても基本協定書に則った事務手続きに不適切な事例が見られました。従前の監査結果でも述べている事例が、一部に繰り返されていることは残念です。

監査意見として、今後、団体と区は常に緊密な関係を保つとともに、相互の役割について再認識すること

を要望します。あわせて、区としての統一した見解を示すべき政策経営部と団体を所管する部署との連携を深め、必要に応じ助言や指導を行うことで団体の運営業務が適切に実施され、区民サービスの質の向上に繋げることを強く期待しています。

補助金交付団体: 千代田区社会福祉協議会、千代田区シルバー人材センター、千代田区観光協会
指定管理者: 千代田区立障害者就労支援施設、千代田万世会館、千代田区立内幸町ホール

監査委員 小林やすお